



第 17 回 (2018 年度)
やどかり研究所報告・交流集会のご案内

日時 2019 年 **3** 月 **9** 日 (土) 9 時 30 分～16 時 30 分

会場 やどかり情報館 (さいたま市見沼区染谷 1177-4)

主催 公益社団法人やどかりの里 やどかり研究所

第 17 回やどかり研究所報告・交流集会を開催します

2018 年度のやどかり研究所の特別企画のテーマは「人権としての健康を考える」です。日本では昨今自己責任が強調され、「健康格差」が社会問題化し、だからこそ「全ての人の健康」を実現できる社会が求められています。そこで、私たちは健康問題を考える上で欠かせない PHC (プライマリ・ヘルス・ケア) の 4 原則の大切さを改めて学び、権利としての健康を考えてみたいと思います。

今回は、やどかり研究所代表でもある松田正己さん (東京家政学院大学人間栄養学部人間栄養学科教授) に「人権としての健康」についてお話しいただきます。また、健康日本 21 では、健康な体づくりは「運動・栄養・休養 (睡眠)」の三要素が大事だといえます。今回初めての企画ですが、健康の三要素の 1 つである「運動」に着目し、ミズノインストラクターとして活躍されている高田早織さんの指導のもと、実際に会場で体を動かしてみたいと思います。(いくつかのグループに分かれて交代で体を動かします)

お申込み・お問合せ

やどかり研究所事務局

TEL : 048-680-1891 FAX : 048-680-1894

E-mail : johokan@yadokarinოსato.org

〒 337-0026 埼玉県さいたま市見沼区染谷 1177-4

3月9日(土) プログラム

9:00~ 9:30 受付

9:30~10:00 開会 あいさつ 情勢報告 活動報告

10:00~12:00 会員による研究・実践報告と討論

報告① 誰も取り残さない地域社会の実現に向けて

—対話と共感にもとづく人づくりセミナーの学びを実践に活かす—

<発表者>大澤 美紀 (サポートステーションやどかり)

宗野 政美 (やどかり農園)

<共同発表者>人づくりセミナー実行委員会

<要旨>

1997年に始まったやどかりの里人づくりセミナー。組織の成長と共に見えてきた「強いリーダーシップでつくる組織ではなく、1人1人が自分の頭で考え行動できる組織づくり」の課題解決のために「人づくりセミナー」を開始した。それから22年となる2018年に10回目の人づくりセミナーを開催。「二人三脚」「三位一体」「四輪駆動」といった物事の基本原則に基づいて、活動を点検し、1人の気づきをみんなの気づきに、そして2020年に50周年を迎えるやどかりの里の活動ビジョンにつなげていくセミナーとなった。人づくりセミナーがどのように組織づくり・人づくり・地域づくりにつながるのか、セミナーの要素を整理し、学びを実践に活かしていくプロセスを報告する。

報告② 精神保健福祉領域のピアアドボカシーの意義と可能性

<発表者>坂本智代枝 (大正大学)

<共同発表者>田中喜美子 (東京福祉大学)

<要旨>

本報告は、ニューヨーク州のピアアドボカシーの実践団体「Baltic Street」へのフィールドワーク調査及びインタビュー調査を通して、精神保健福祉領域のピアアドボカシーの機能を明らかにしたうえでその意義と可能性を検討することが目的である。調査の分析結果からピアアドボカシーの機能には【政策への提言】、【地域を基盤としたサービス】、【専門職と当事者との通訳】、【ブリッジャー(橋渡し)】、【セルフアドボカシーの促進】、【生活密着型支援】、【違和感からの解放】、【当事者の夢を実現する】、【生き方の学習支援】、【危険を冒す権利の支持】、【経験的共感】の11コのカテゴリーが明らかになった。これらのカテゴリーは、日常の支援活動、プログラムの開発、政策においてもピアアドボカシーの機能が網羅されており、今後の日本におけるピアアドボカシーの実践にも示唆を得られた。本稿の視察・調査は、JSPS17K04248 科研費助成金の補助を受けて行った。

報告③ 金沢市障害者計画と障害者権利条約をリンクさせる表を作成して両者を分かり易く把握する試み

<発表者>道見 藤治 (医療・福祉問題研究会)

<要旨>

障害者権利条約をいきなり読み解くには抵抗感もあるかと思われる。それを取り掛かり易くする方法として、金沢市障害者計画の生活場面の項目をキーに権利条約の条文を照合させる表を作成してみた。

この表により、知りたい項目、調べたい項目が権利条約のどの条文に書かれているか判別し易くなるので、事典のような役割を担えると考えられる。報告では生データは控え、項目だけの対比表を紹介する。更に権利条約と金沢市障害者計画を合わせ鏡ふうに見つめることができ、両者の長所が把握できると考えられるが、そこまでは至っていない。またこの表の使い方として、例えば金沢市障害者差別解消条例(仮称)を策定するための一つの参考資料となることも狙っている。

今回は十分な検討ができていないので、今後の実践活動の方向性や研究課題を見つけたい。

報告④ 精神障害のある人の健康増進の取り組みとその意義

—やどかりの里の実践から—

＜発表者＞三石麻友美（見沼区障害者生活支援センターやどかり）

＜共同発表者＞やどかりの里健康増進プロジェクトチーム

大澤 美紀 渡邊 奏子 玉手 佳苗 鈴木 裕貴 森本 紀子
山中うつぎ 二戸 セツ 谷川 涼子 遊佐しずゑ 北久保詩子

<要旨>

やどかりの里では、2010年から法人内に多職種による「健康増進プロジェクトチーム」を立ち上げ、やどかりの里メンバーの健康増進に関するさまざまな取り組みを進めてきた。立ち上げの背景は、やどかりの里メンバーの高齢化、精神疾患と合わせて身体疾患の重症化が進んできていたことが挙げられる。プロジェクトでは、メンバー1人1人が年齢を重ねても健康を守りながら暮らしていくための取り組みと、疾患の重症化防止、身体疾患への対応の3つを活動の柱にし、個別支援やグループ活動を進めてきた。

本集会では、精神障害のある人の健康課題と生活課題に着目し、プロジェクトの取り組みを整理するとともに、保健・福祉・看護の多職種連携による取り組みの意義を整理する機会としたい。

12:00~13:00 休憩（昼食）

特別企画 権利としての「健康」を学び・実践しよう

13:00~14:30 講演と討論 「人権としての健康」を考える

＜講師＞松田 正己さん（東京家政学院大学人間栄養学部人間栄養学科教授）

人権としての健康という考え方は、どこから来て、どのように広がってきたのか。アルマ・アタ宣言のPHCからの40年を振り返る。促進して来た人、阻害するものについて、過去と現在について考えてみたい。

14:30~15:30 心と体の健康を改善する運動を体験しよう

＜実演指導＞高田 早織さん（ミズノインストラクター/ピラティス・ヨガ・バレトン・ZUMBA等）

15:45~16:30 茶話会（松田さん、高田さんを囲んで交流しましょう）

やどかり研究所 入会のご案内

会費 年間12,000円（4月から翌年3月まで）分割での納入も可能です。

※会費には機関紙「やどかり」購読料を含みます。

会員の特典

- ・会員には、さまざまな研究会や学習会のご案内をお届けし、参加費の割引を用意します。
- ・やどかり出版の発行する「響き合う街で」（年4回発行）、やどかりの里が毎月発行する機関紙「やどかり」、年1回発行される所報「やどかり」を送付します。
- ・やどかり出版の発行する出版物を2割引で購入できます。（出張販売の折には対応できません）
- ・会員が「響き合う街で」に総説・解説・研究・実践報告等の寄稿をした場合、優先的に掲載する権利を保有します。

会員になるためには所定の用紙に必要な事項を記入し、お申し込みください。

